

令和4年12月1日

福津市議会
議長 江上隆行様

議会広報調査特別委員会
委員長 福井崇郎

議会広報調査特別委員会報告書

令和3年第1回福津市議会臨時会において設置された議会広報調査特別委員会の活動について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 調査事項

議会や市政の取り組みを市民に分かりやすく紹介し、親しみやすく手に取って読んでもらえる紙面づくりのため、以下の点について検討・変更を行った。

- ① 表紙
- ② 特集、裏表紙
- ③ アンケート調査

2. 発行号および発行日

- (1) 第64号(12月定例会/令和3年2月1日発行)
- (2) 第65号(2月臨時会・3月定例会/令和3年6月1日発行)
- (3) 第66号(6月定例会/令和3年9月1日発行)
- (4) 第67号(9月定例会/令和3年11月1日発行)
- (5) 第68号(12月定例会/令和4年2月1日発行)
- (6) 第69号(1月臨時会・3月定例会/令和4年5月1日発行)
- (7) 第70号(4月臨時会・6月定例会/令和4年9月1日発行)
- (8) 第71号(9月定例会号/令和4年11月1日発行)

3. 発行号における変更点と工夫

① 表紙

表紙絵の公募は、令和2年2月1日発行の60号から行っており、65号で

2回目の公募を行った。43点の応募の中から、市内の中学校の美術部に所属する1年生の生徒が選ばれ、66号～69号の表紙を飾った。

3回目は69号にて募集を行い、3点の応募の中から60代の主婦が選ばれ、現在表紙を飾っている。

② 特集、裏表紙

特集は、見開きカラーページにて、予算や決算の内容をグラフや写真を活用し、視覚化して解説するなどの工夫を行なっている。

また、68号では、目で見える予算審議サイクルとして、イラストを用いて予算執行の流れを図で説明した。70号では、福津市議会のこれまでの歩みを、議員定数の変化や福津市議会議員選挙の投票率、ICT化の取り組みの効果などのデータを視覚化し、分かりやすく伝える工夫を行なった。

68号の裏表紙では、写真や図面を活用し議場の解説を行った。70号では、議会BCPについて、災害発生時の対応の流れをチャートで解説した。また、71号では、傍聴に行きたなくなるように、すごろく形式で楽しみながら傍聴の方法を知ってもらえるように工夫した。

③ アンケート調査

68号では、議会だよりの検証のため初の読者アンケートをWEB上で行い、182件の回答があった。この結果は、令和4年5月1日付で69号および福津市議会ホームページに掲載し、公表している。

どの程度読むかの問いに対して、「よく読む・たまに読む」は81%、「あまり読まない・読んだことがない」は19%だった。どう感じているかの問いに対して、「とても読みやすい・読みやすい」は53%、「少し読みにくい・読みにくい」は47%だった。関心のある内容は、1位 一般質問・総括質疑、2位 カラー特集、3位 賛否表となった。

議会だよりの内容やレイアウトについては、まだまだ読みにくいとの意見があったため、各号ごとに委員会で話し合い、図やイラストを多用し、内容を分かりやすくシンプルに伝える工夫を行ってきた。

4. 議会広報調査特別委員会の取り組み

この2年間で、福津市民、特にこれから主権者教育を受ける中学生に議会の取り組みの内容が伝わるよう、わかりやすく手に取りやすい議会だよりを目指し、作成してきた。

市民が表紙絵を描くことで議会がより身近となり、表紙絵作成者やその周辺の方に議会の取り組みが伝わることにも繋がっている。また、特集と裏表

紙では、カラーを生かした写真や図を多用した。議会の取り組みを文字情報だけでなく、視覚的にも分かりやすく伝えることで市民と議会の情報共有を図る媒体とするためである。

議会だよりは、議会の内容をより深く伝えるための媒体であるため、議会だよりのアンケートの結果から一定の評価は受けたものの、全体の内容やレイアウト・構成は、随時見直し、より伝わるための工夫を継続していく必要がある。